

日時 2018年12月4日 (火) 13:00~17:45

場所 北上オフィスプラザ2階セミナールーム

〒024-0051 岩手県北上市相去町山田2-18

参加費無料

■ プログラム

◇ 挨拶・産総研の紹介、活用について [13:00~13:30]

国立研究開発法人産業技術総合研究所 東北センター 所長 松田宏雄

◇ 講演1 [13:30~15:00]

「中小製造業のIT化支援ツールMZプラットフォームについて」

国立研究開発法人産業技術総合研究所 製造技術研究部門 主任研究員 古川慈之

—— 休憩 [15:00~15:10] ——

◇ 講演2 [15:10~15:40]

「MZプラットフォーム導入事例の紹介」

株式会社日新電機システム 設計課長 金城聡氏

◇ 講演3 [15:40~16:40]

「中小製造業のIoT支援 MZプラットフォームを拡張したスマート製造ツールキットの開発」

国立研究開発法人産業技術総合研究所 製造技術研究部門 主任研究員 古川慈之

◇ 質疑応答 [16:40~17:00]

◇ 名刺交換会 [17:15~17:45]

ものづくり企業はグローバル化や人手不足に晒される中、更なる生産性向上の為に、情報システムの活用 (IT/IoT 化) が期待されています。しかし、中小企業が自社で最初からシステム開発を行う事は困難であり、外部への開発依頼は高価に付く事から、導入が進んでいないのが現状です。

MZ プラットフォームは、中小企業のものづくり支援を目的に、産総研により新規開発されたソフトウェア開発・実行環境を提供する無償のツールです。プログラムを作成することなくコンポーネントと呼ぶソフトウェア部品を組み合わせて、設計・製造業務を支援するシステム (IT 化) を自社の状況に合わせて独自に開発することができます。

また、MZ プラットフォームは、IoT 機器連携拡張機能を追加することにより、工作機械や各種センサーと既存規格とのインターフェースとして機能します。産総研では、この連携機能と自作センシング機器とを組み合わせて「スマート製造ツールキット」(IoT 化支援ツールレシピ) も提供します。

今回は MZ プラットフォームの内容、活用事例、および IoT への拡張について簡単な IoT ツールキットの実演を交えてご紹介します。各企業様の導入のきっかけになれば幸いです。

■ 主催：産業総合研究所東北センター、北上市産業支援センター

■ 後援：岩手県、一関市、奥州市、大船渡市、

(地独)岩手県工業技術センター、(公財)いわて産業振興センター、

(公財)岩手県南技術研究センター、(公財)釜石・大槌地域産業育成センター、

(一社)ビジネスサポート花巻

お申込みについては  
裏面をご覧ください。



# 「中小企業のIT化からIoT化を支援するMZプラットフォーム」セミナー 参加申込書

※メールでお申込みいただく場合も、下記事項をご記載ください。

申込み締切：11/30 (金)

■ 社名・機関名： \_\_\_\_\_

■ 氏名 (フリガナ)： \_\_\_\_\_

■ 所属・役職： \_\_\_\_\_

■ 連絡先 (メールアドレスまたはFAX番号)： \_\_\_\_\_

■ 出欠：セミナー 参加 / 不参加 (無料)

          名刺交換会 参加 / 不参加 (無料)

\*ご記入いただいた個人情報については、本セミナー以外に使用することはありません。

## 申込み・お問い合わせ先

**TEL** 0197-71-2181

**FAX** 0197-67-3704

**MAIL** [mono@ginga-net.ne.jp](mailto:mono@ginga-net.ne.jp)

北上市産業支援センター 担当：中嶋

<https://kop.jp/mono/>